

平成15年度 札幌市市政世論調査概要

【調査対象】20歳以上の男女 1500人

【調査方法】個別訪問質問紙留置法

【調査期間】平成16年1月8日～1月18日

【回収数】1,275件(81.7%)

【調査項目】

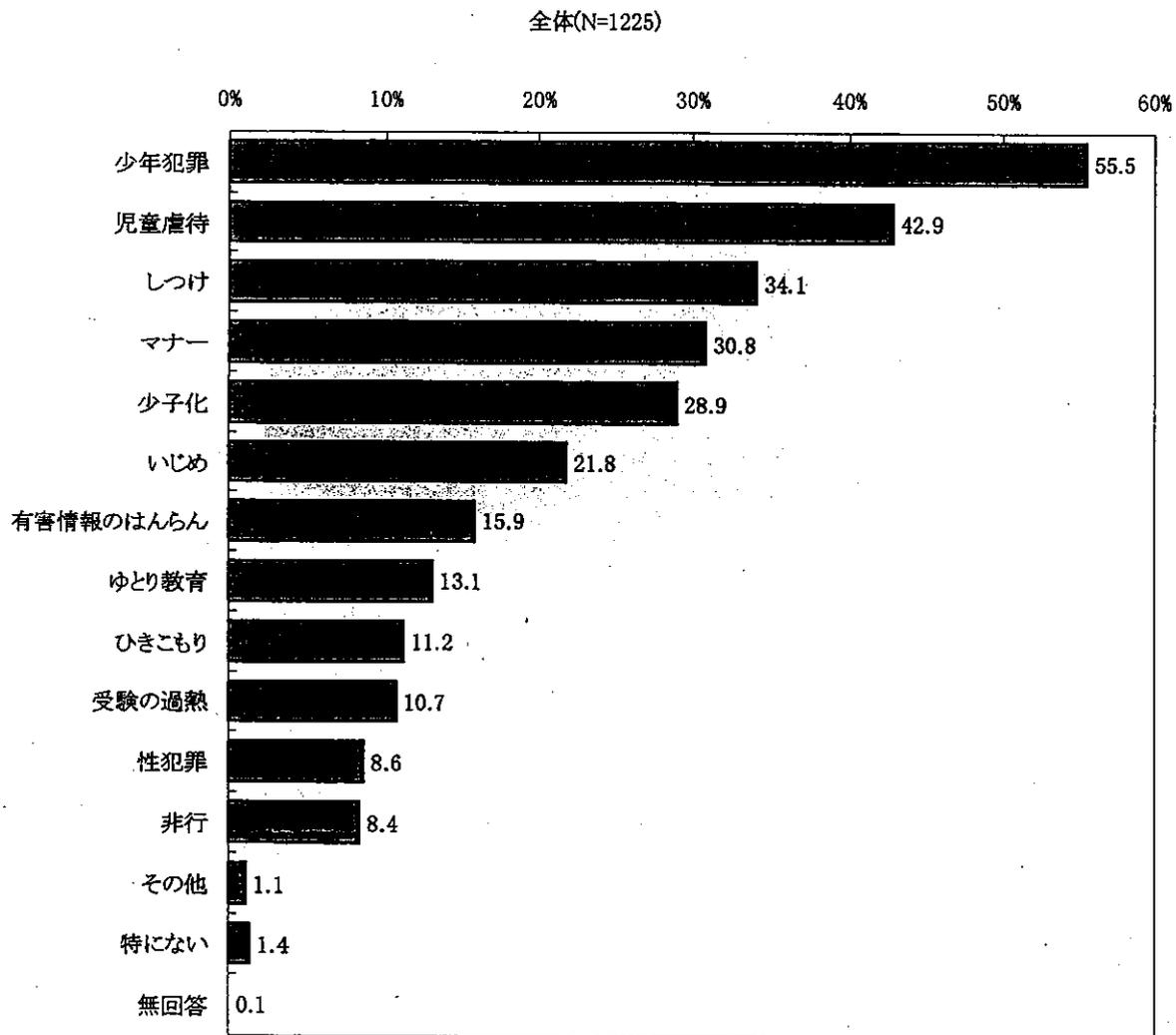
分類	調査項目	別紙有
1 子どもを取り巻く環境と課題	1 今の子ども「小中高校生」に対する印象	
	2 最近の子どもを取り巻く課題で関心のあること	
	3 少年犯罪の増減についてどのように感じているか	
	4 非行や少年犯罪が起きる原因	
	5 子ども同士のいじめの増減	
	6 身近にいる子どもがいじめにあうのを見聞きしたことの有無	
	6-1 見聞きたいいじめの内容	
	7 身近にいる子どもからの相談の有無	
	7-1 身近にいる子どもから相談された内容	
	8 大人による子どもの虐待への増減	
2 子どもとのかかわり	9 札幌市が子どもにとってやさしい街だと思うか	
	9-1 札幌市が子どもにとってやさしい街だと思う理由	
	9-2 札幌市が子どもにとってやさしい街だと思わない理由	
	10 今の子ども「小中高校生」を取り巻く環境についての印象	
3 子どもの健やかな育成	11 近所の子どもとのかかわり	
	11-1 近所の子どもとの関わりがない理由	
	12 近所の子どもとの関わりで大切だと思うこと	
4 子どもの権利条約	13 子どもが健やかに育つために必要だと思うこと	
	14 小学生程度の子どもが健やかに育つための体験の必要性	
	15 今の子どもが学校以外で体験してほしいこと	
	16 今の子どもが学校や家庭生活以外で体験してほしいこと	
5 理想の大人像	17 子どもの権利条約認知	
	17-1 子どもの権利条約認知経路	
	18 子どもの権利とは	
	19 子どもの権利が守られていると思うか否か	
	19-1 子どもの権利が守られていると思う理由	
	19-2 子どもの権利が守られていないと思う理由	
	20 子どもの権利を守るための取組について	
	20-1 子どもの権利を守るための取組はどこ(誰)が中心になるべきか	
	21 子どもの権利を守るために市が取り組むこと	
22 今の子どもたちが将来どんな大人になることを望むか		

Ⅱ 札幌市民の子ども観

1 子どもを取り巻く環境と課題

■ 最近の子どもを取り巻く課題で関心のあること

問 あなたが、最近の子どもを取り巻く課題で関心のあることがありますか。次の中から、あてはまるものに3つまで○をつけてください。

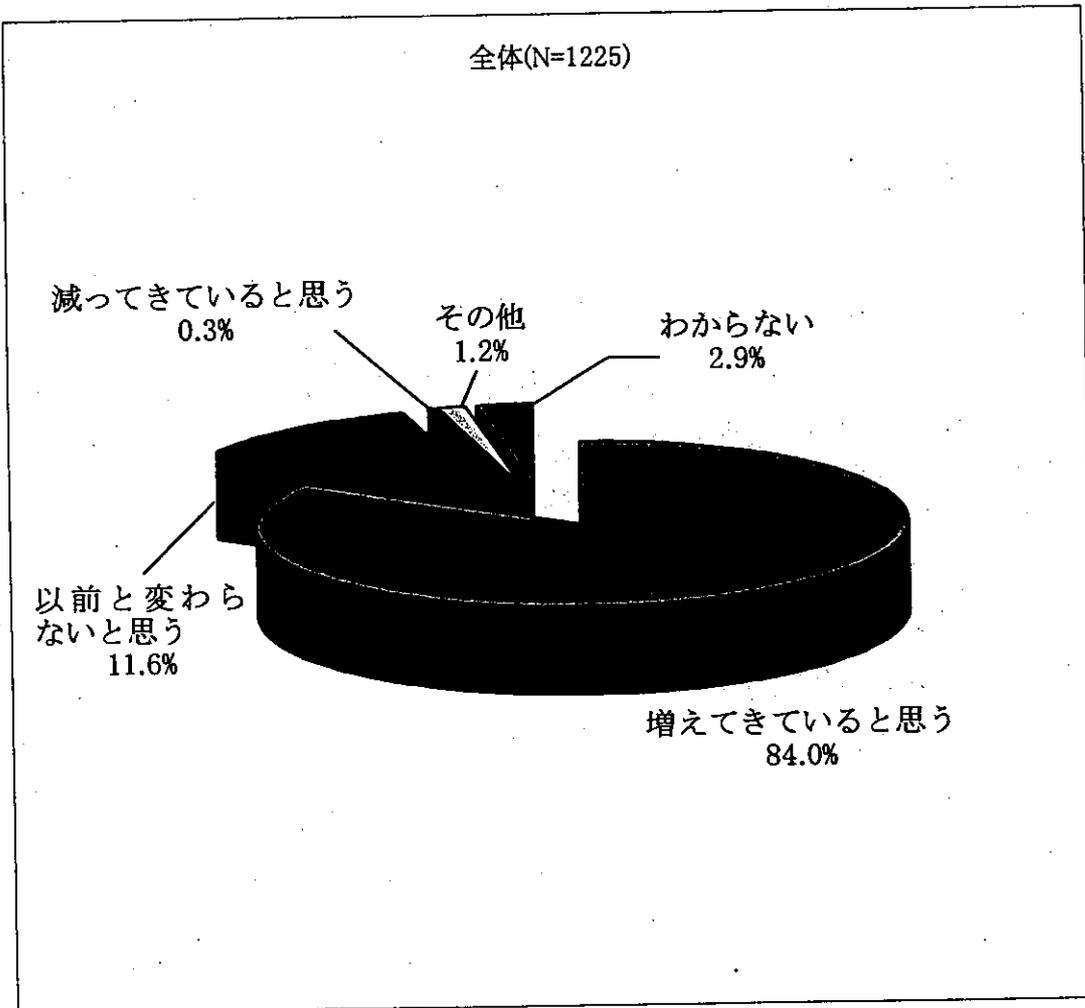


最近の子どもを取り巻く課題で関心のあることは、55.5%と全体の過半数の人が「少年犯罪」と回答している。2位以下には「児童虐待」42.9%、「しつけ」34.1%が続いている。

最近の子どもを取り巻く課題で関心のあることは、「少年犯罪」(55.5%)が最も多い。

■ 「少年犯罪」の増減

問 子どもが事件に関わる「少年犯罪」の増加・減少について、どのように感じていますか。あなたのお考えに最も近いものに1つだけ○をつけてください。

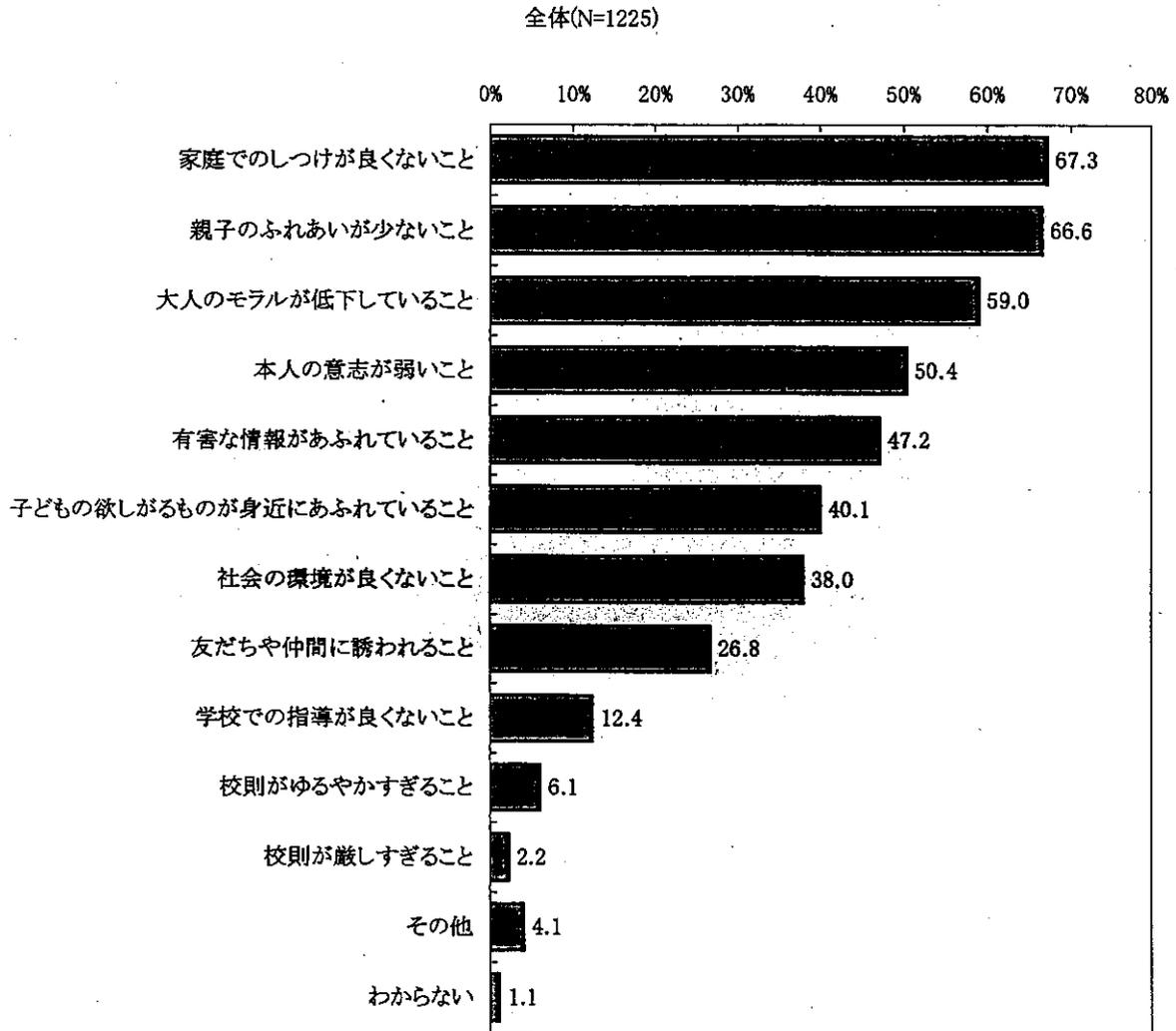


「少年犯罪」については、「増えてきていると思う」が 84.0%と 8割以上を占めており、「減ってきていると思う」は 0.3%と極めて少ない。

「少年犯罪」については、8割以上が「増えてきていると思う」と回答している。

■ 非行や少年犯罪が起きる原因

問 あなたは、どのようなことが原因で、非行や少年犯罪が起きると思いますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

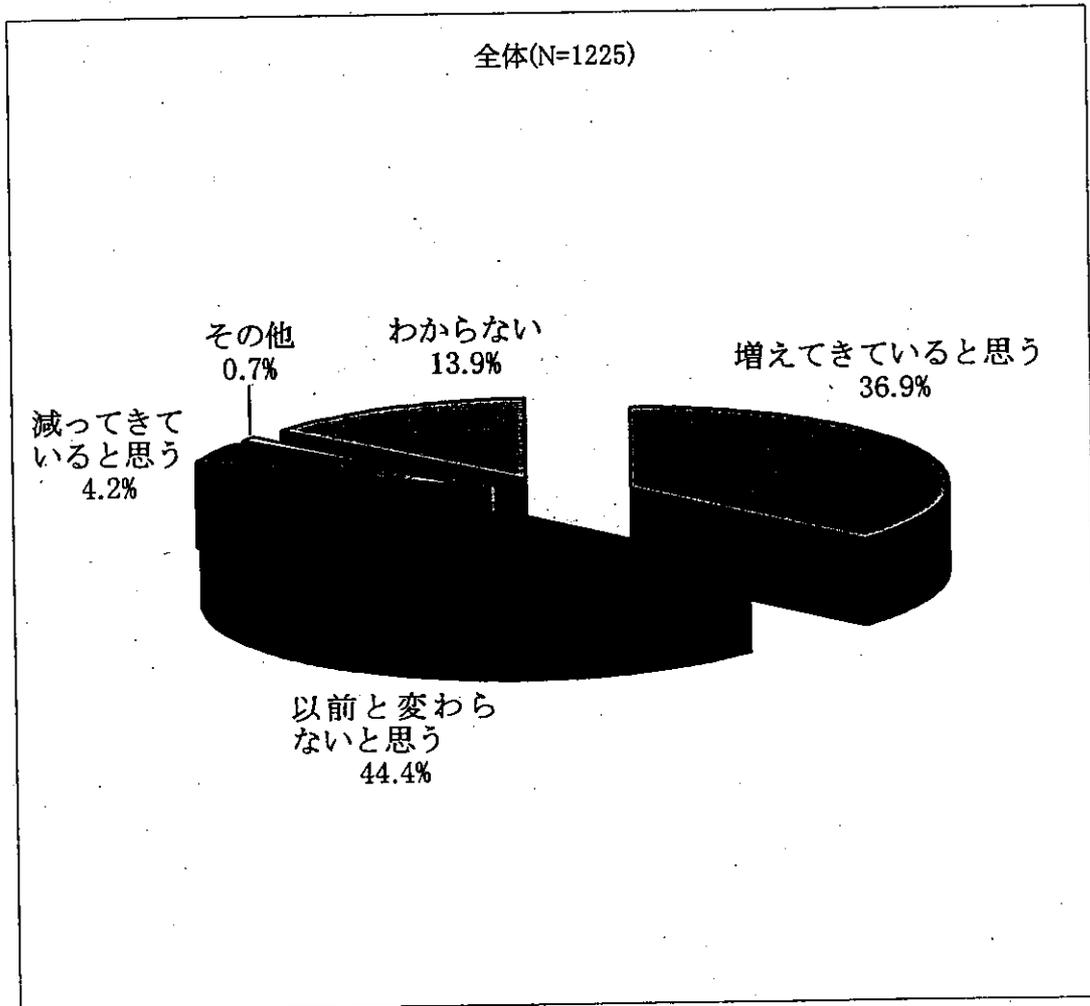


非行や少年犯罪が起きる原因は、「家庭でのしつけが良くないこと」67.3%、「親子のふれあいが少ないこと」66.6%がほぼ同じレベルで並び、「大人のモラルが低下していること」が59.0%で続いている。

非行や少年犯罪が起きる原因は、「家庭でのしつけが良くないこと」67.3%、「親子のふれあいが少ないこと」66.6%の回答が多い。

■ 子ども同士による「いじめ」の増減

問 あなたは、子ども同士による「いじめ」の増加・減少について、どのように感じていますか。お考えに最も近いものに1つだけ○をつけてください。

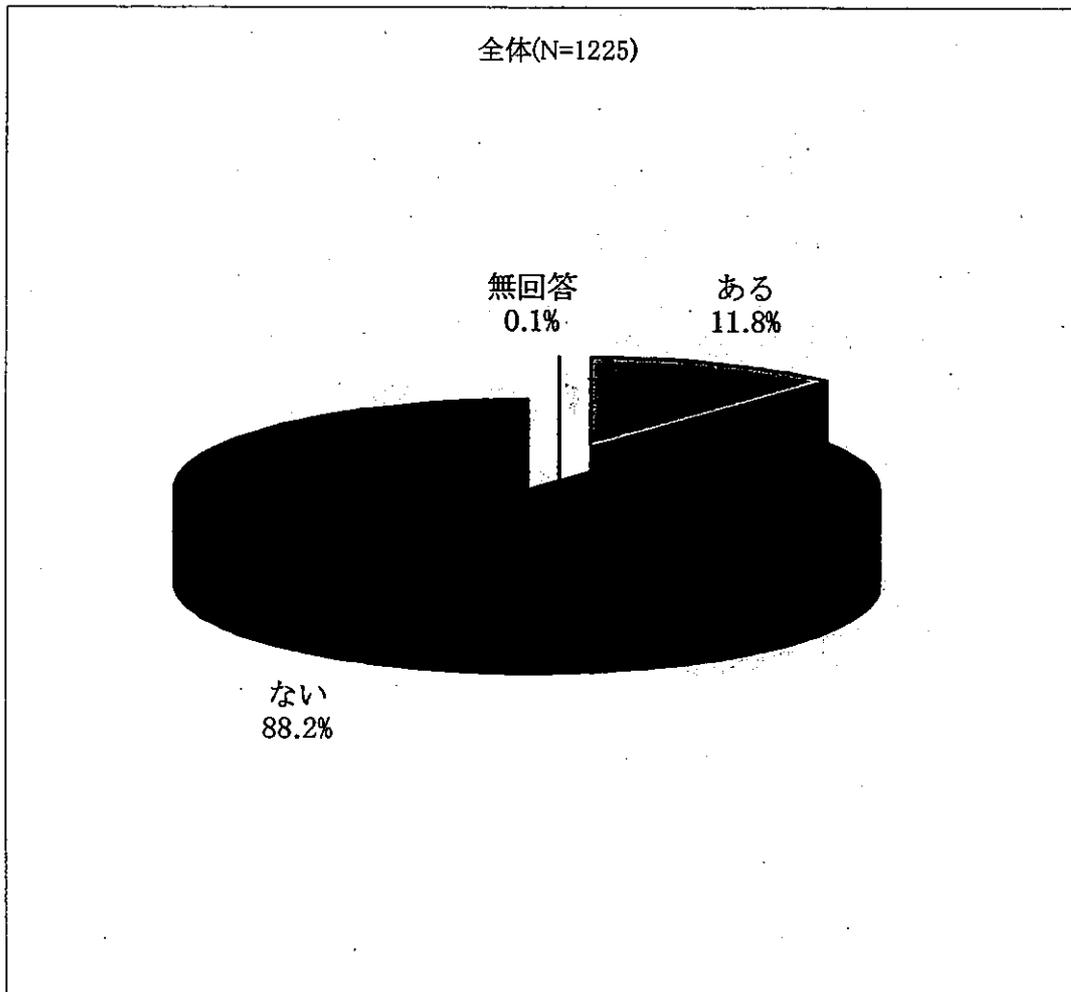


子ども同士による「いじめ」については、「増えてきていると思う」が36.9%、「以前と変わらないと思う」が44.4%で、「減ってきていると思う」は4.2%となっている。

子ども同士による「いじめ」については、「以前と変わらないと思う」が44.4%、「増えてきていると思う」が36.9%を占めている。

■ 身近にいる子どもからの相談の有無

問 あなたは、身近にいる子どもから相談を受けたことがありますか。 どちらかに○をつけてください。

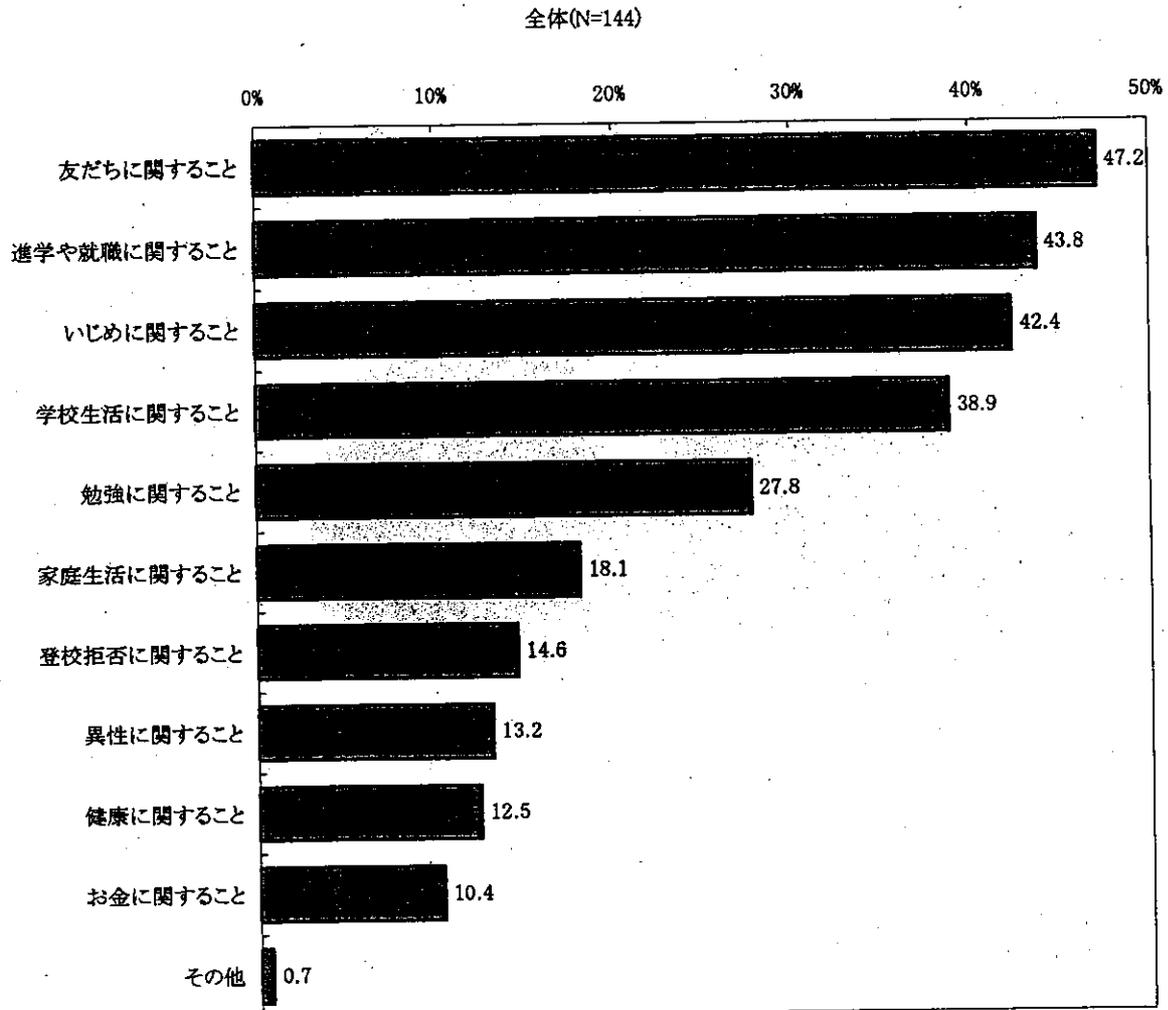


身近にいる子どもからの相談を受けたことが「ある」人は 11.8%であり、88.2%とほぼ9割の人は「ない」と回答している。

身近にいる子どもからの相談を受けたことがある人は全体の約1割。

■ 相談された内容

問 《前問で「1 ある」と答えた方にお聞きします》
あなたが相談されたことは、どのような内容でしたか。あてはまるものいくつでも○をつけてください。

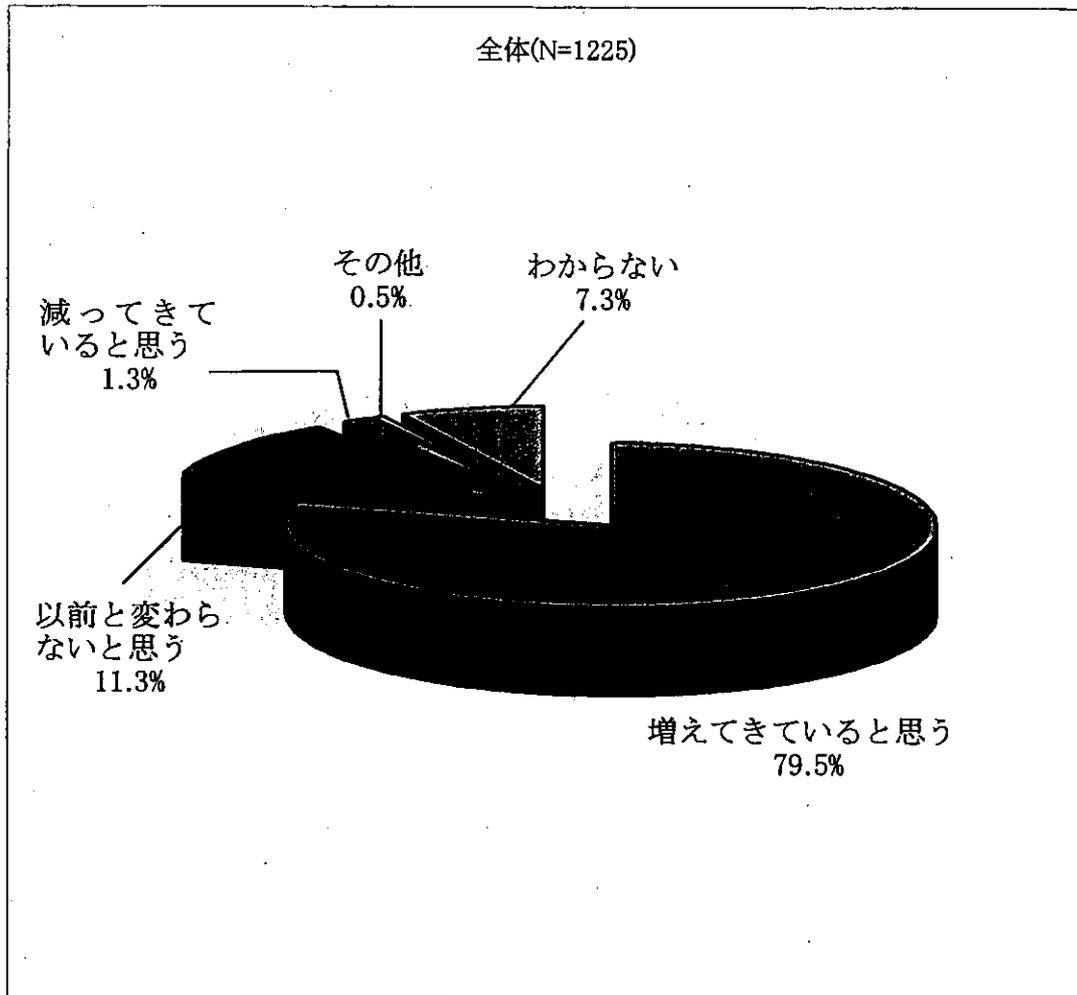


相談された内容の上位3項目は、「友だちに関すること」47.2%、「進学や就職に関すること」43.8%、「いじめに関すること」42.4%となっている。

相談された内容で最も多いのは「友だちに関すること」47.2%である。

■ 大人による「子どもへの虐待」の増減

問 あなたは、大人による「子どもへの虐待」の増加・減少について、どのように感じていますか。お考えに最も近いものに1つだけ○をつけてください。

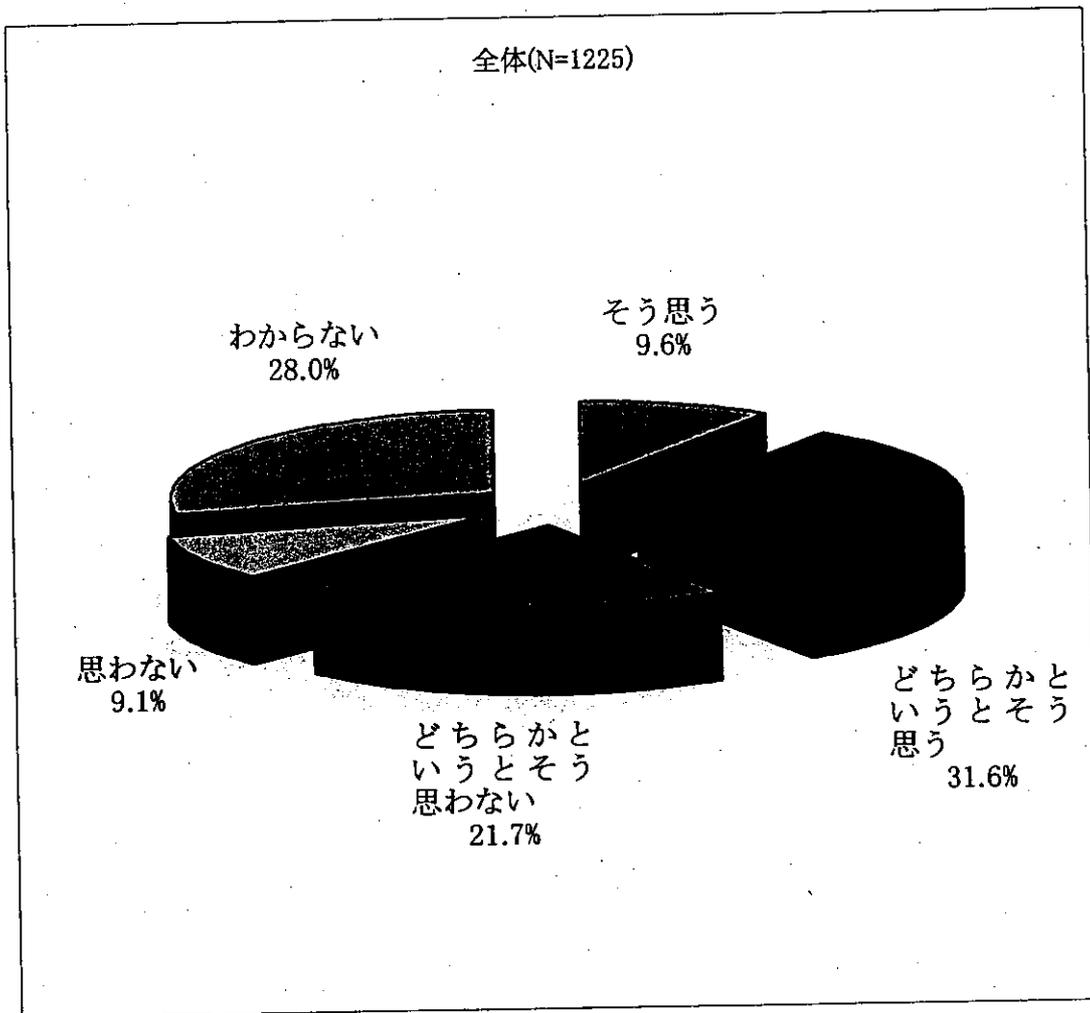


大人による「子どもへの虐待」は、79.5%と約8割の人が「増えてきていると思う」と回答しており、「以前と変わらないと思う」は11.3%で、「減ってきていると思う」は1.3%となっている。

約8割の人が、大人による「子どもへの虐待」は「増えてきていると思う」と回答。

■ 「札幌市が子どもにとってやさしい街」だと思えるか否か

問 あなたのイメージでお答えください。あなたは、「札幌市が子どもにとってやさしい街」だと思いますか。お考えに最も近いものに1つだけ○をつけてください。



「札幌市が子どもにとってやさしい街」だと思えるかどうかについて、「思う」（「そう思う」＋「どちらかというところ思う」）との回答が41.1%で、一方、「思わない」（「思わない」＋「どちらかというところ思わない」）との回答は30.9%となっている。

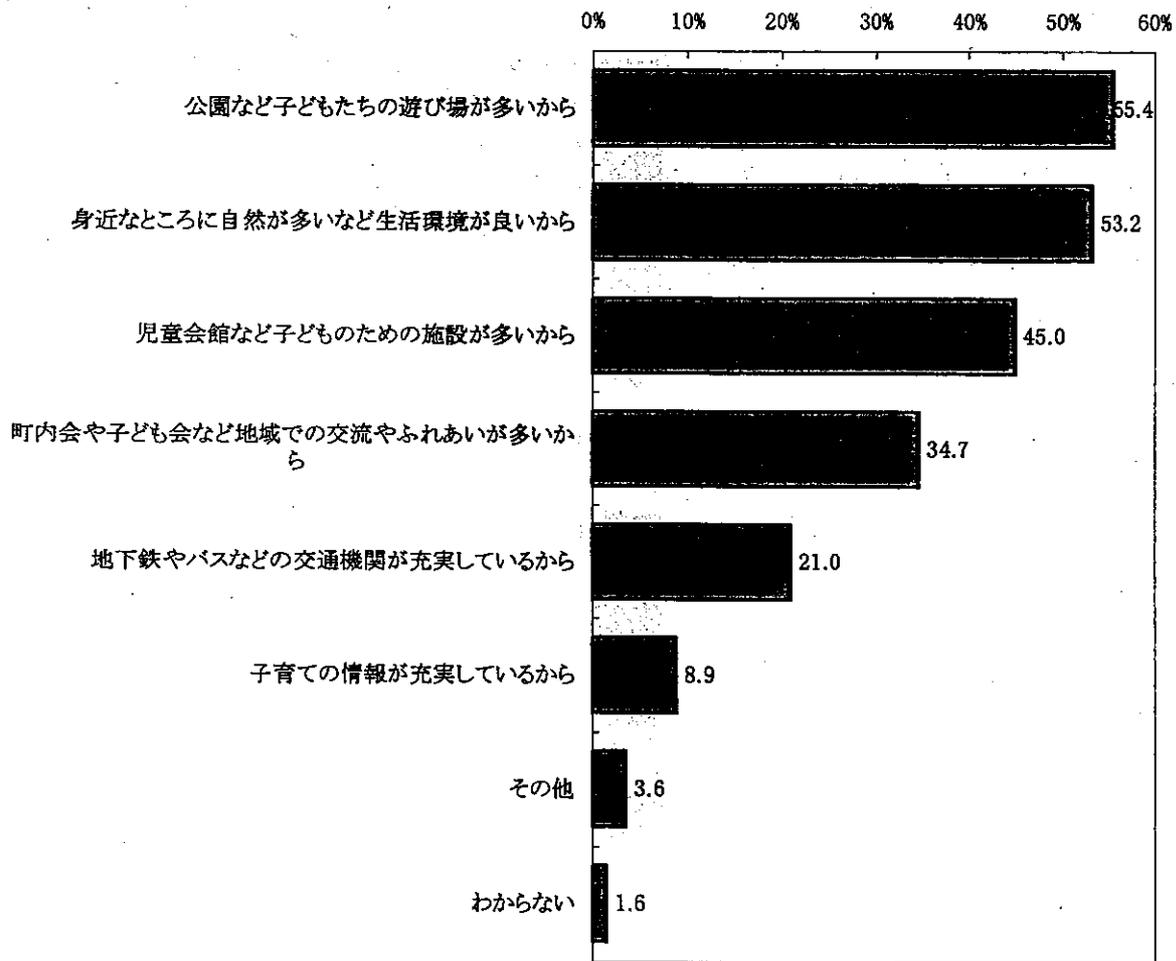
「札幌市が子どもにとってやさしい街」だと「思う」（「そう思う」＋「どちらかというところ思う」）41.1%が、やや上回る。

■ 「札幌市が子どもにとってやさしい街」だと思ふ理由

問 《前問で「1 そう思う」、「2 どちらかというと思ふ」と答えた方にお聞きします》

「札幌市が子どもにとってやさしい街」だと、あなたが思ふ理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

全体(N=504)



「札幌が子どもにとってやさしい街」だと思ふ理由は、「公園など子どもたちの遊び場が多いから」が 55.4%と最も多く、次いで「身近なところに自然が多いなど生活環境が良いから」53.2%、「児童会館など子どものための施設が多いから」45.0%の順となっている。

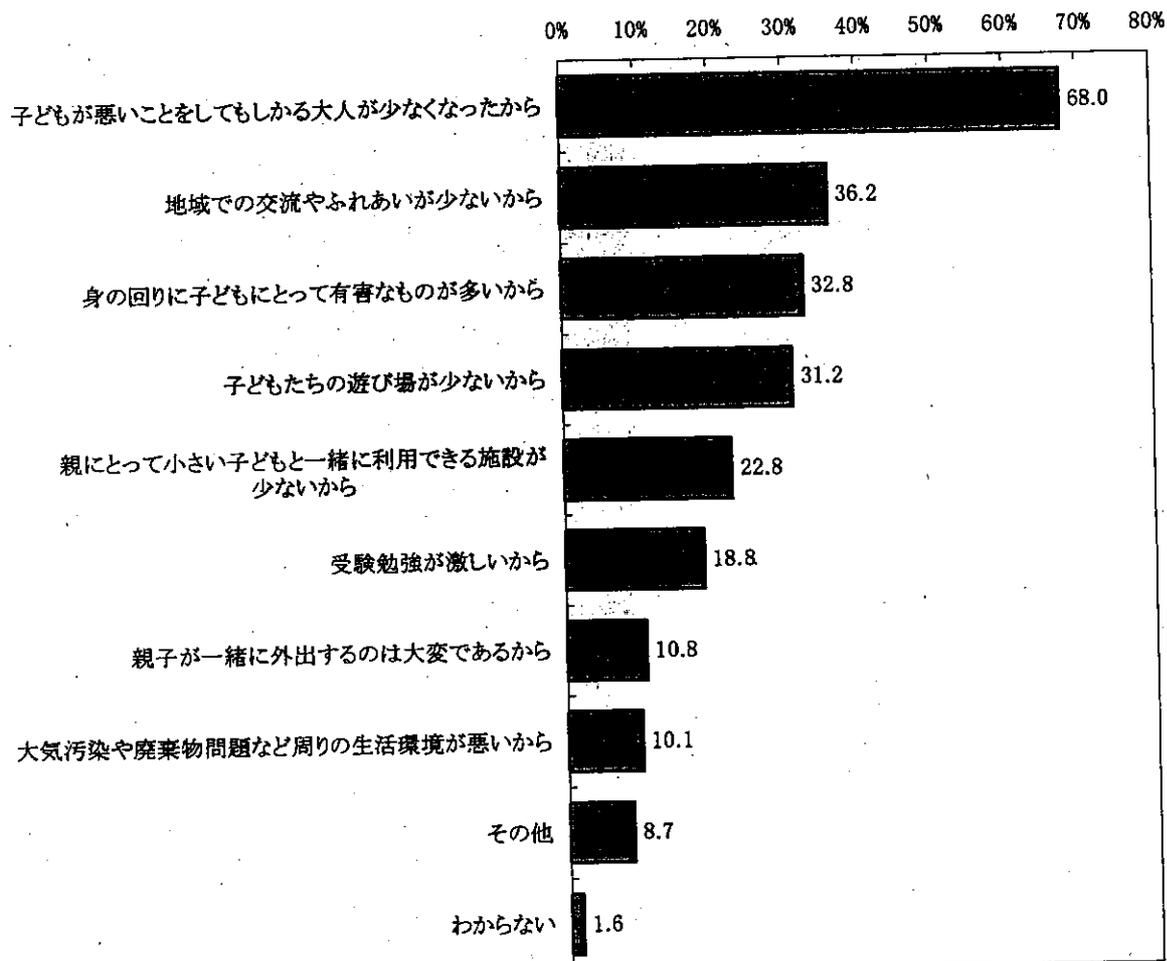
「札幌が子どもにとってやさしい街」だと思ふ理由は、1位「公園など子どもたちの遊び場が多いから」、2位「身近なところに自然が多いなど生活環境が良いから」。

■ 「札幌市が子どもにとってやさしい街」だと思わない理由

問 《前問で「3 どちらかというと思わない」、「4 思わない」と答えた方にお聞きします》

「札幌市が子どもにとってやさしい街」だと、あなたが思わない理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

全体(N=378)



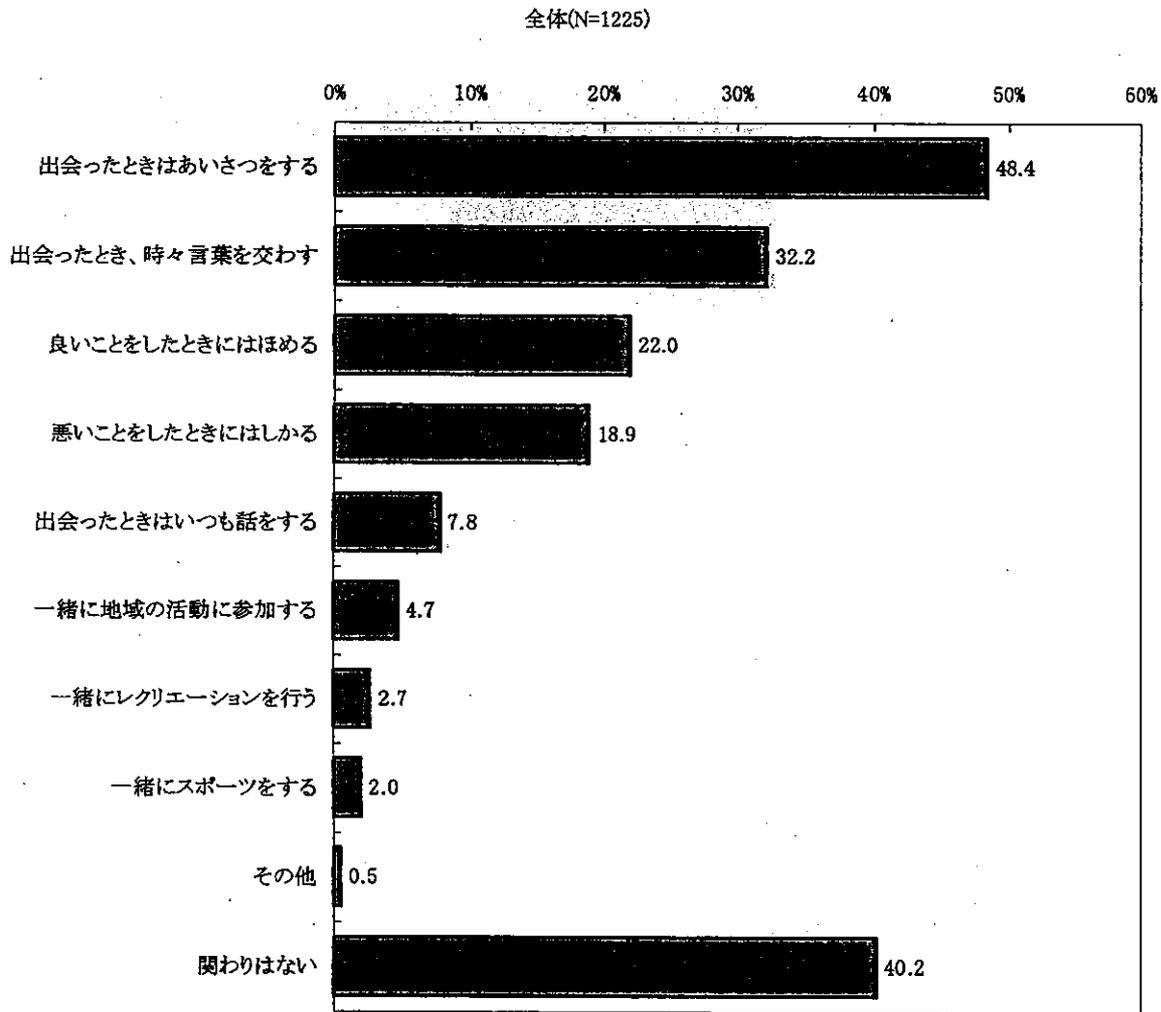
「札幌市が子どもにとってやさしい街」だと思わない理由は、「子どもが悪いことをしてもしかる大人が少なくなったから」という回答が群を抜いており、68.0%に達している。以下、「地域での交流やふれあいが少ないから」36.2%、「身の回りに子どもにとって有害なものが多いから」32.8%と続く。

「札幌市が子どもにとってやさしい街」だと思わない理由は、「子どもが悪いことをしてもしかる大人が少なくなったから」が群を抜いている。

2 子どもとの関わり

■ 近所の子どもの関わり

問 あなたは、近所の子どもと関わりがありますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。



近所の子どもの関わりは、「出会ったときはあいさつをする」が48.4%とほぼ半数を占め、「出会ったとき、時々言葉を交わす」32.2%、「良いことをしたときにはほめる」22.0%、「悪いことをしたときにはしかる」18.9%と続いている。一方、「関わりはない」が40.2%と4割を占めている。

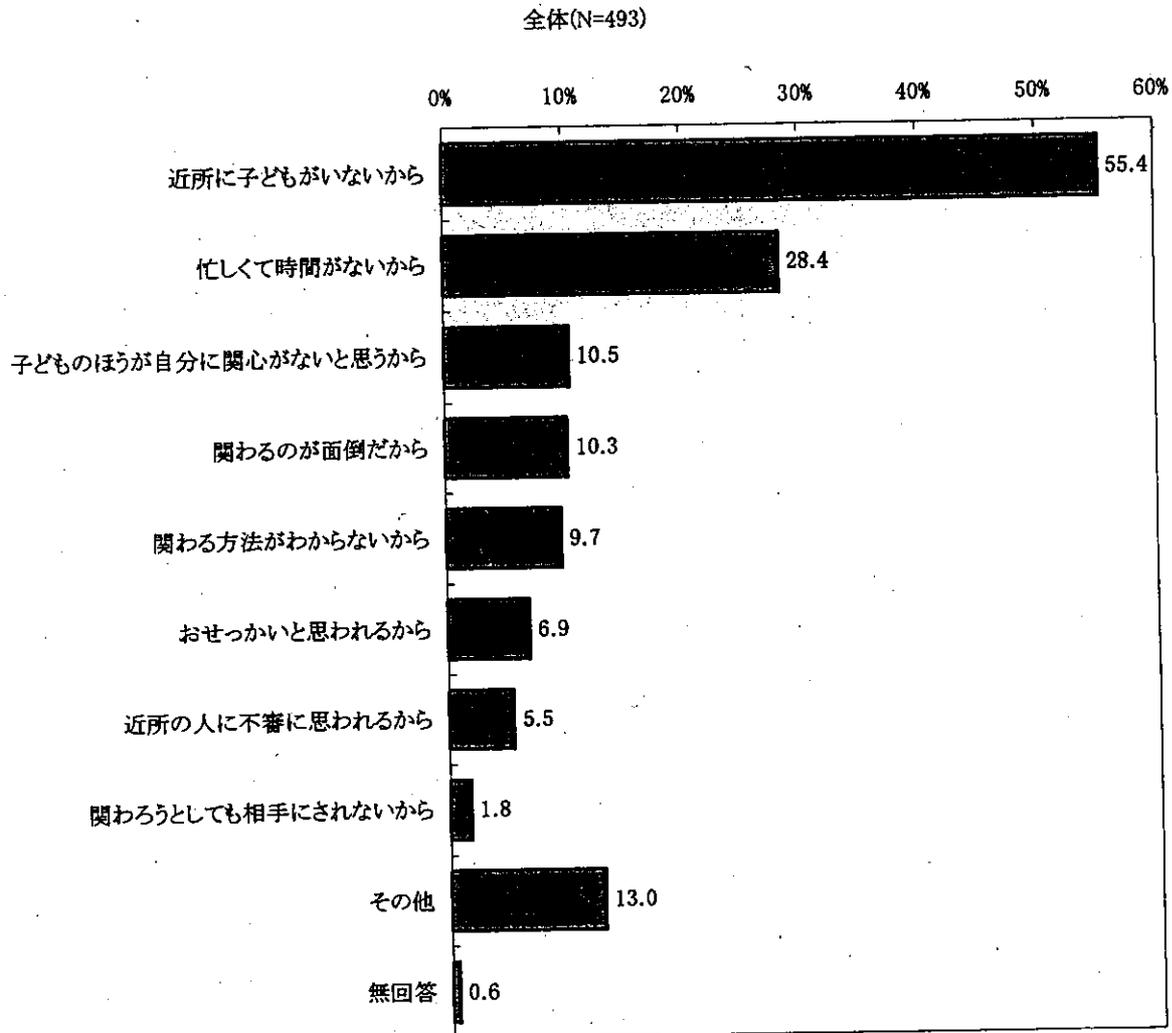
また、「一緒に地域の活動に参加する」「一緒にレクリエーションを行う」「一緒にスポーツをする」など、一緒に何らかの活動をするような深い関わりを持つ割合はいずれも低くなっている。

近所の子どもの関わりについて、ほぼ半数の人が「出会ったときはあいさつをする」とするも、「関わりはない」が4割に及ぶ。

■ 近所の子どもの関わりがない理由

問 《前問で「10 関わりはない」と答えた方にお聞きします》

あなたが、近所の子どもと関わりがないのはなぜですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

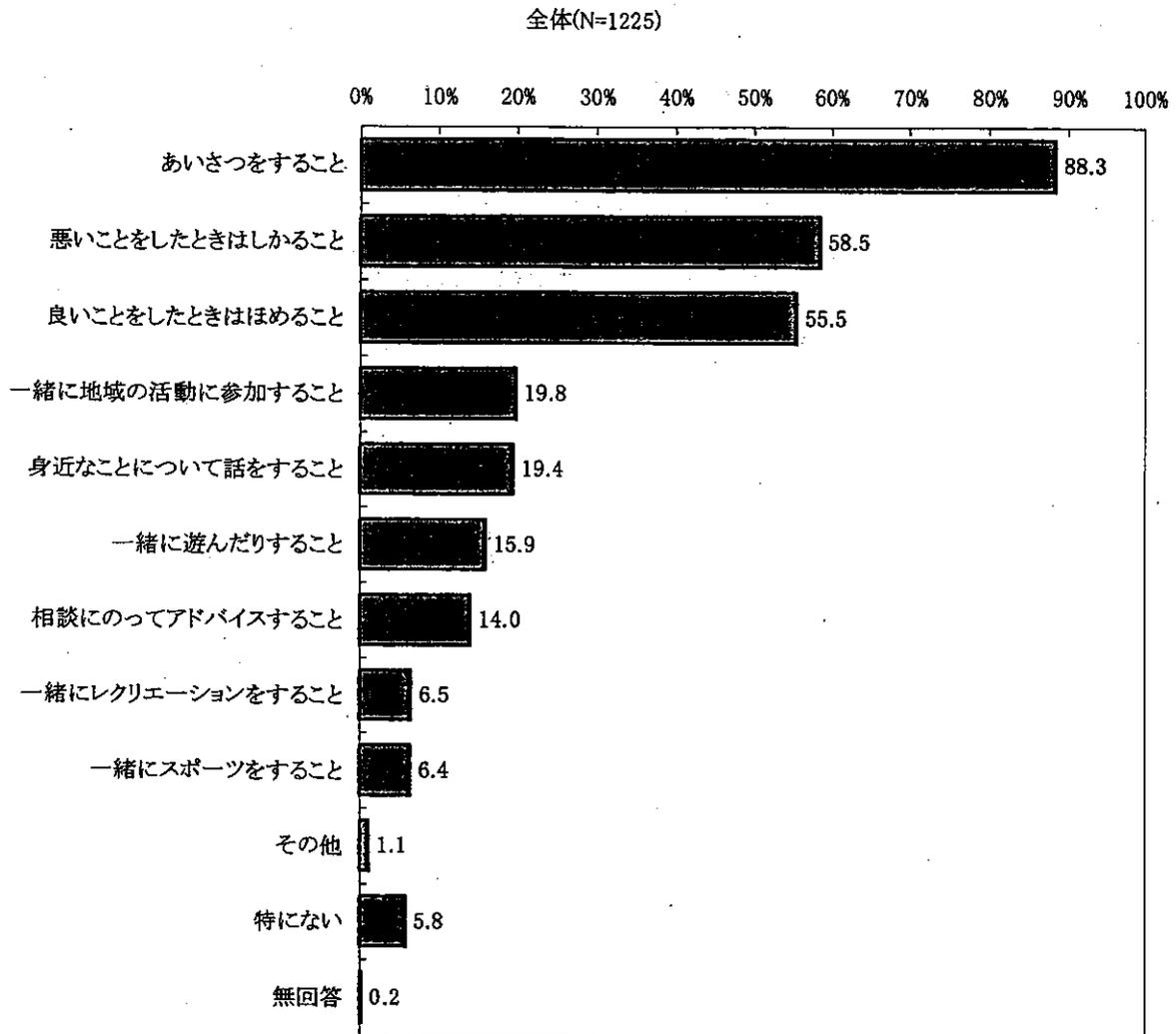


近所の子どもと関わりがない理由は、「近所に子どもがいないから」が55.4%と過半数を占めている。2位は「忙しくて時間がないから」の28.4%、3位以下は「子どものほうが自分に興味がないと思うから」「関わるのが面倒だから」「関わる方法がわからないから」と続いている。

子どもと関わりがない理由は、過半数の人が「近所に子供がいないから」と回答。

■ 近所の子どもの関わりで、大切だと思うこと

問 あなたが近所の子どもの関わりで、大切だと思うことがありますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。



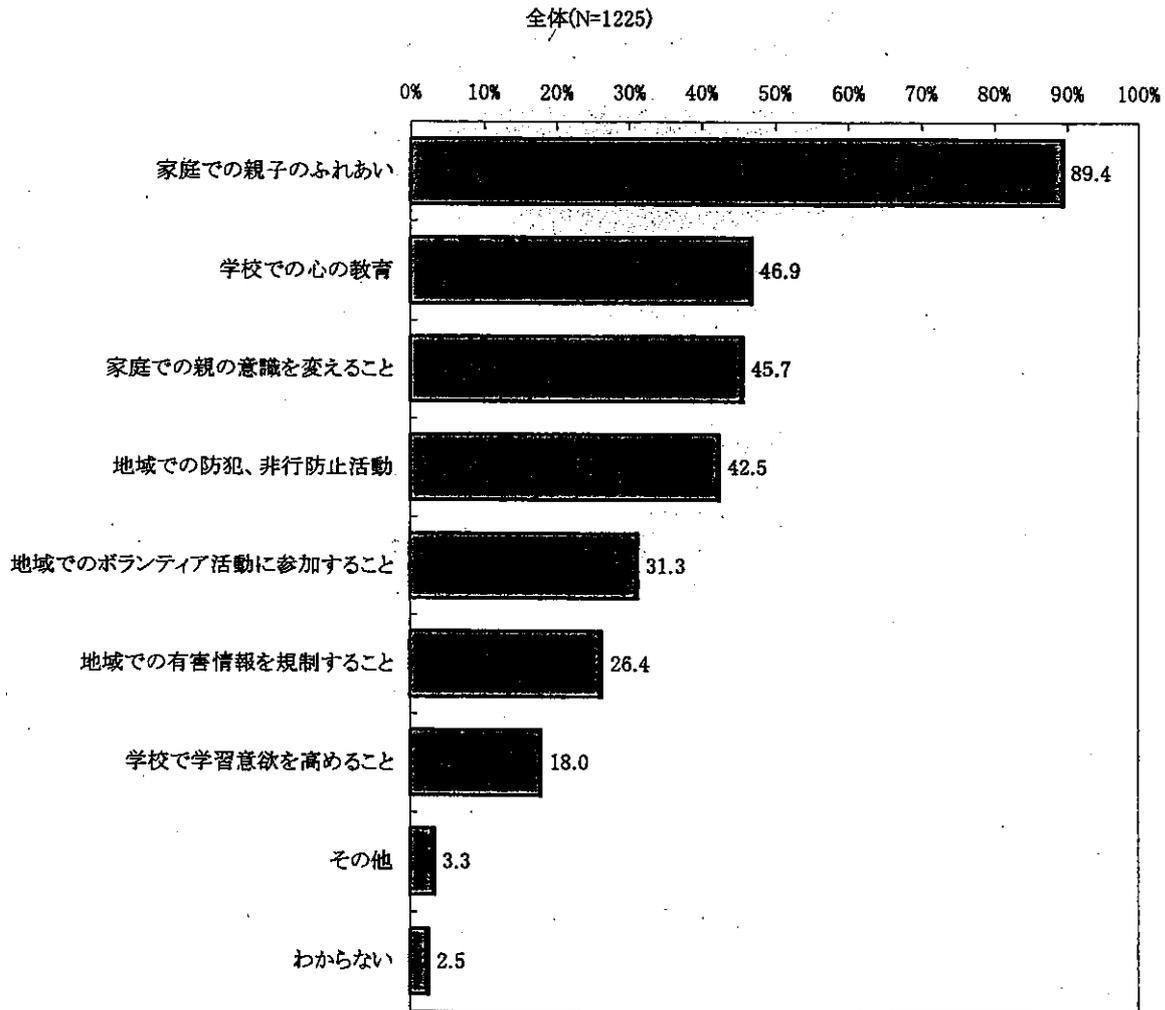
近所の子どもの関わりで大切だと思うことは、「あいさつをすること」が 88.3%と9割近くを占め、「悪いことをしたときにはしかること」58.5%、「良いことをしたときにはほめること」55.5%と続いている。

近所の子どもの関わりで大切だと思うのは、ほぼ9割の人が「あいさつをすること」と回答。「悪いことをしたときにはしかること」「良いことをしたときにはほめること」が5割台で続く。

3 子どもの健やかな育成

■ 子どもが健やかに育つために、必要だと思うこと

問 子どもが健やかに育つために、あなたが必要だと思うものがありますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

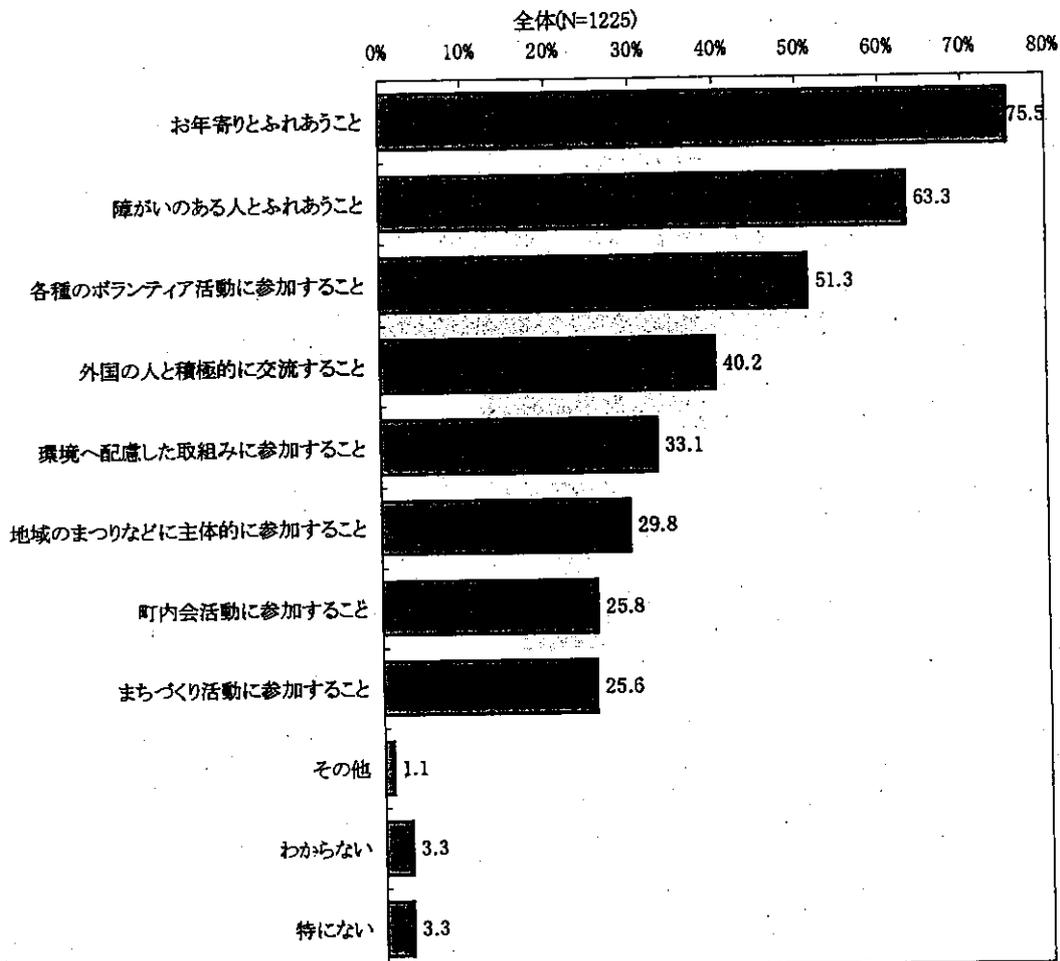


子どもが健やかに育つために必要だと思うものは、「家庭での親子のふれあい」をあげる意見が 89.4%と最も多くなっている。以下、「学校での心の教育」46.9%、「家庭での親の意識を変えること」45.7%、「地域での防犯、非行防止活動」42.5%と続いている。

ほぼ9割の人が、子どもが健やかに育つために必要だと思うものは「家庭での親子のふれあい」と回答。

■ 今の子どもが学校や家庭以外の社会生活で体験してほしいこと

問 あなたは、今の子どもが学校や家庭以外の社会生活で体験してほしいと思うことがありますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。



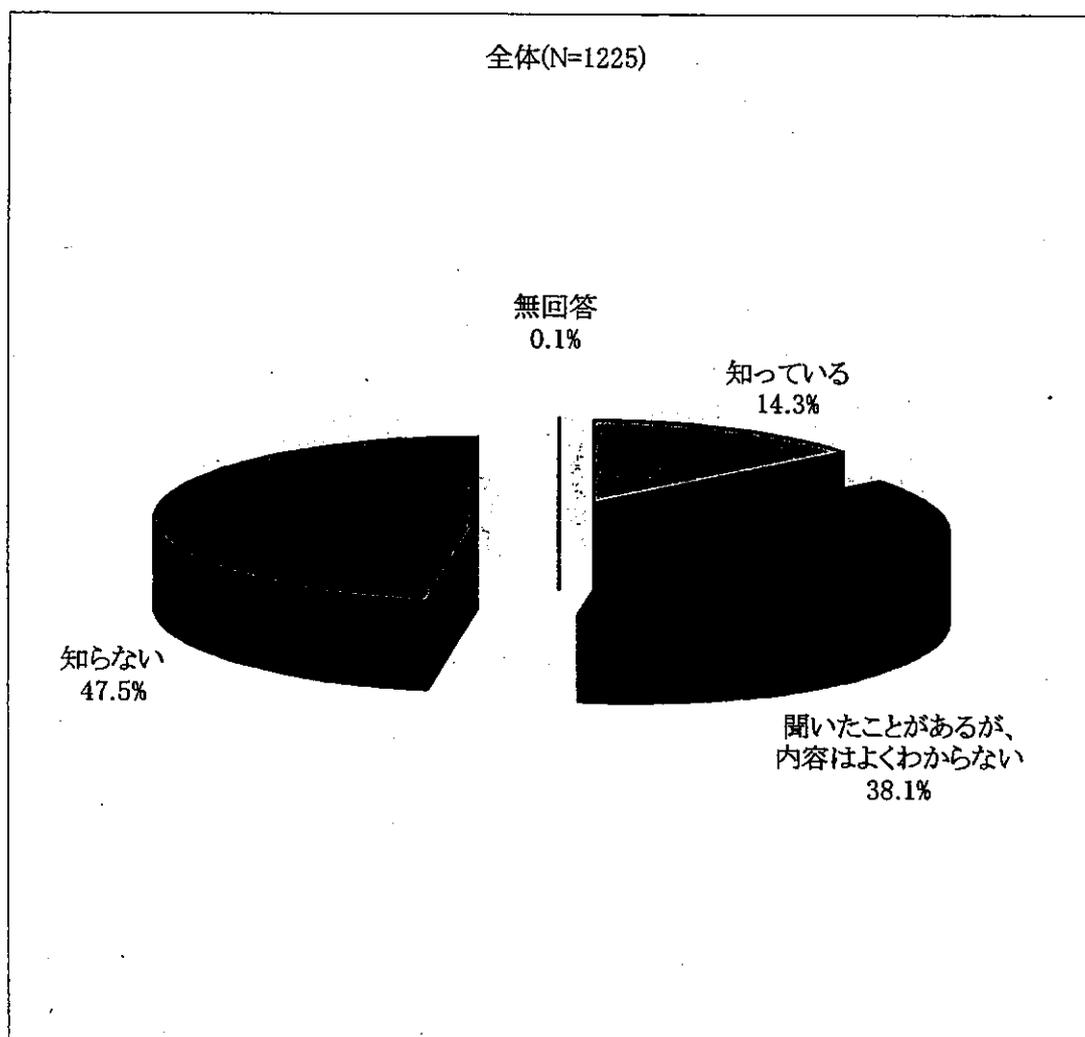
学校や家庭以外の社会生活で体験してほしいことは、1位が「お年寄りとふれあうこと」75.5%、2位が「障がいのある人とふれあうこと」63.3%、3位が「各種のボランティア活動に参加すること」51.3%となっている。

学校や家庭以外の社会生活で体験してほしいことの上位3項目は、「お年寄りとふれあうこと」75.5%、「障がいのある人とふれあうこと」63.3%、「各種のボランティア活動に参加すること」51.3%。

4 「子どもの権利条約」

■ 「子どもの権利条約」認知

問 あなたは「子どもの権利条約」を知っていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

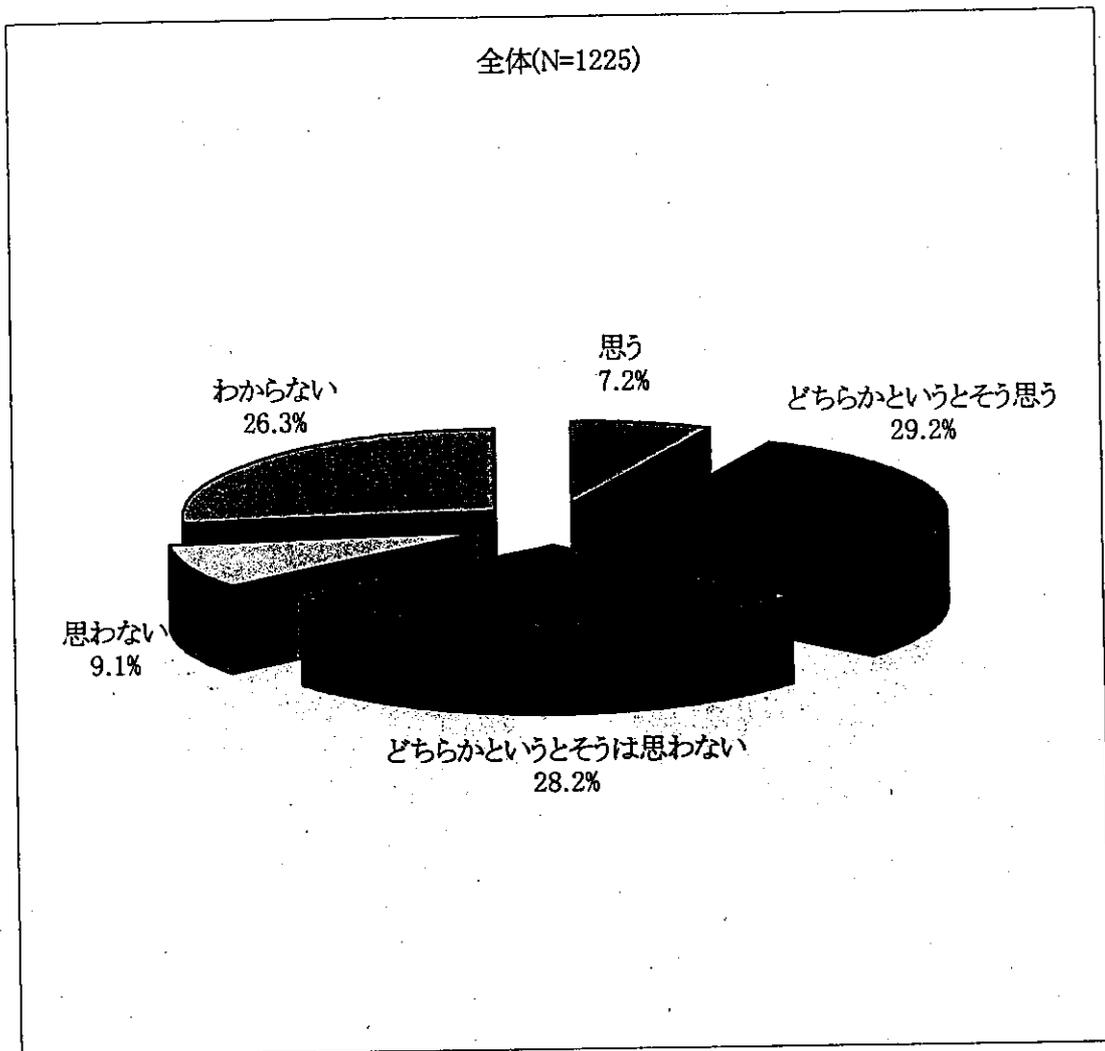


「子どもの権利条約」について、「知っている」が 14.3%、「聞いたことがあるが、内容はよくわからない」は 38.1%であり、両方を合わせると半数を超える。

半数以上が「子どもの権利条約」を「知っている」または「聞いたことがあるが、内容はよくわからない」と回答。

■ 「子どもの権利」が守られていると思うか否か

問 現在、日本では「子どもの権利」が守られていると思いますか。あなたのお考えに最も近いものに1つだけ○をつけてください。



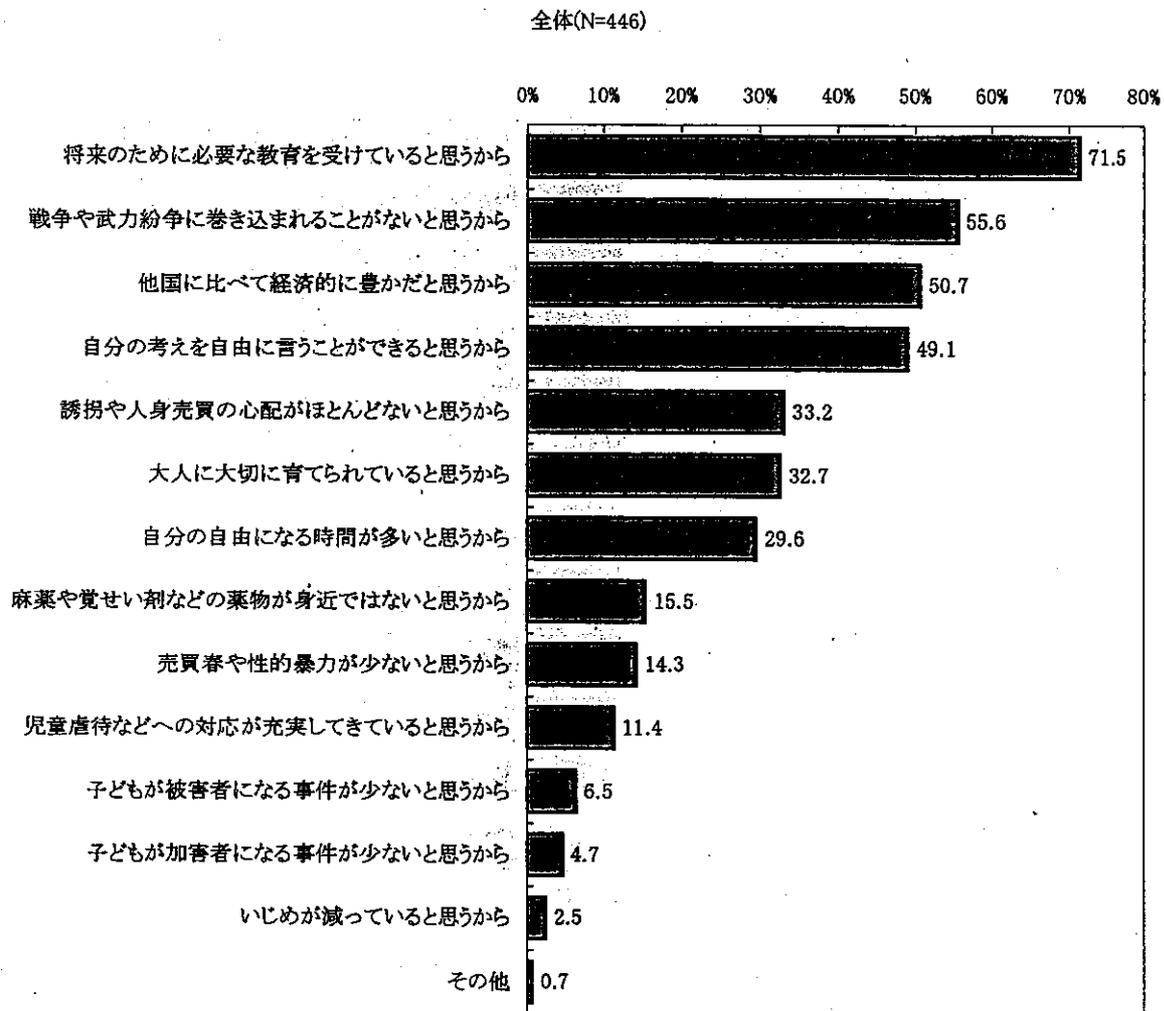
現在、日本では「子どもの権利」が守られていると「思う」と回答した人は 7.2%で、「どちらかというと思う」29.2%を合わせた“思う”は 36.4%であり、「思わない」9.1%、「どちらかというとは思わない」28.2%を合わせた“思わない”が 37.3%となっている。また、「わからない」との回答が 26.3%となっている。

「子どもの権利」が守られていると“思う”が 36.4%、“思わない”が 37.3%で「わからない」が 26.3%の回答となった。

■ 「子どもの権利」が守られていると思う理由

問 《前問で「1 思う」、「2 どちらかというと思う」と答えた方にお聞きします》

「子どもの権利」が守られていると思うのは、どのような理由からですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

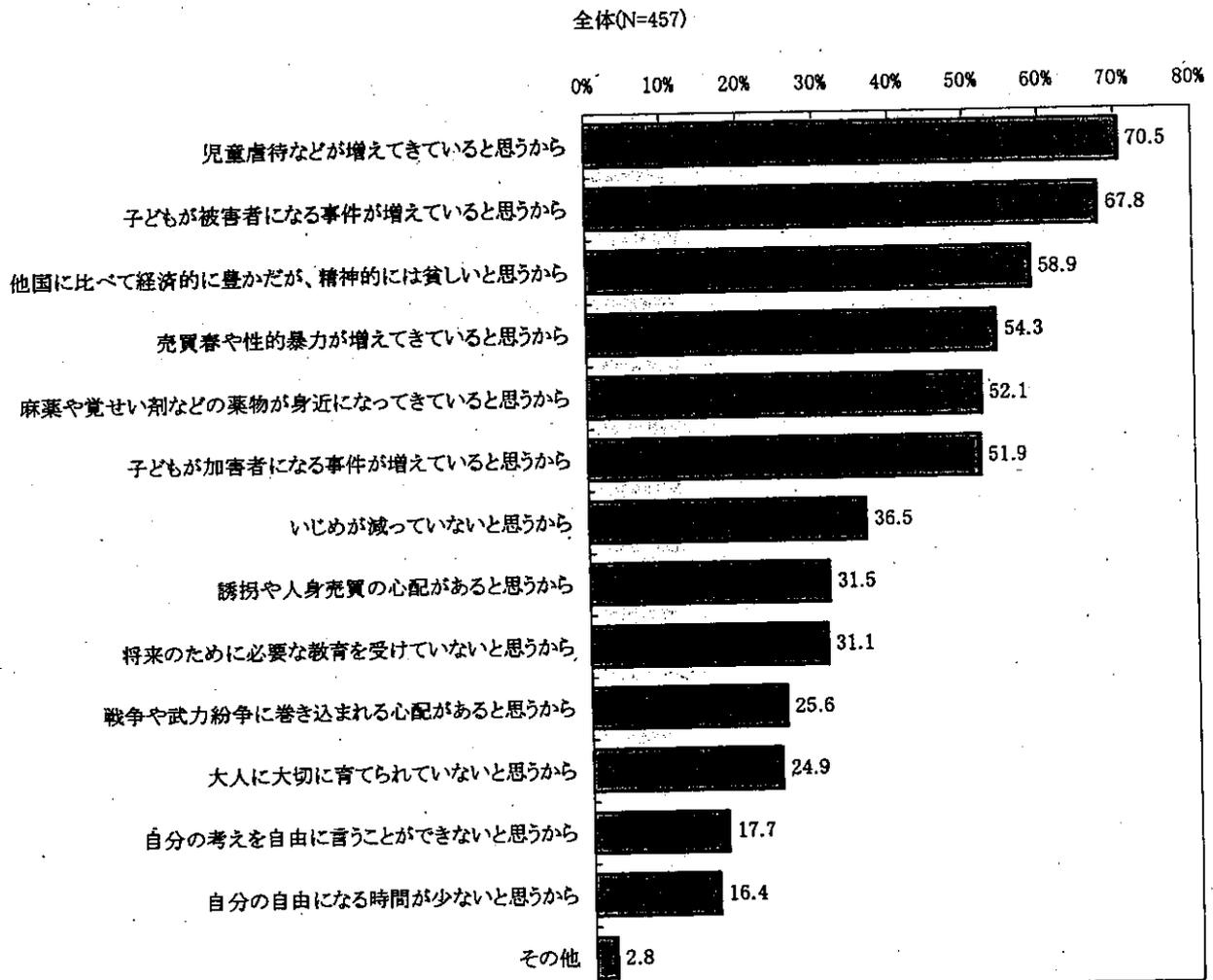


「子どもの権利」が守られていると思う理由は、「将来のために必要な教育を受けていると思うから」が最も多く、7割を超える。次いで「戦争や武力紛争に巻き込まれることがないと思うから」「他国に比べて経済的に豊かだと思うから」「自分の考えを自由に言うことができると思うから」が5割前後で続く。

「子どもの権利」が守られていると思う理由は、「将来のために必要な教育を受けていると思うから」が最も多い。

■ 「子どもの権利」が守られていないと思う理由

問 《前問で「3 どちらかというそうは思わない」、「4 思わない」と答えた方にお聞きます》
 あなたが、「子どもの権利」が守られていないと思うのは、どのような理由からですか。あてはまるもの
 にいくつでも○をつけてください。

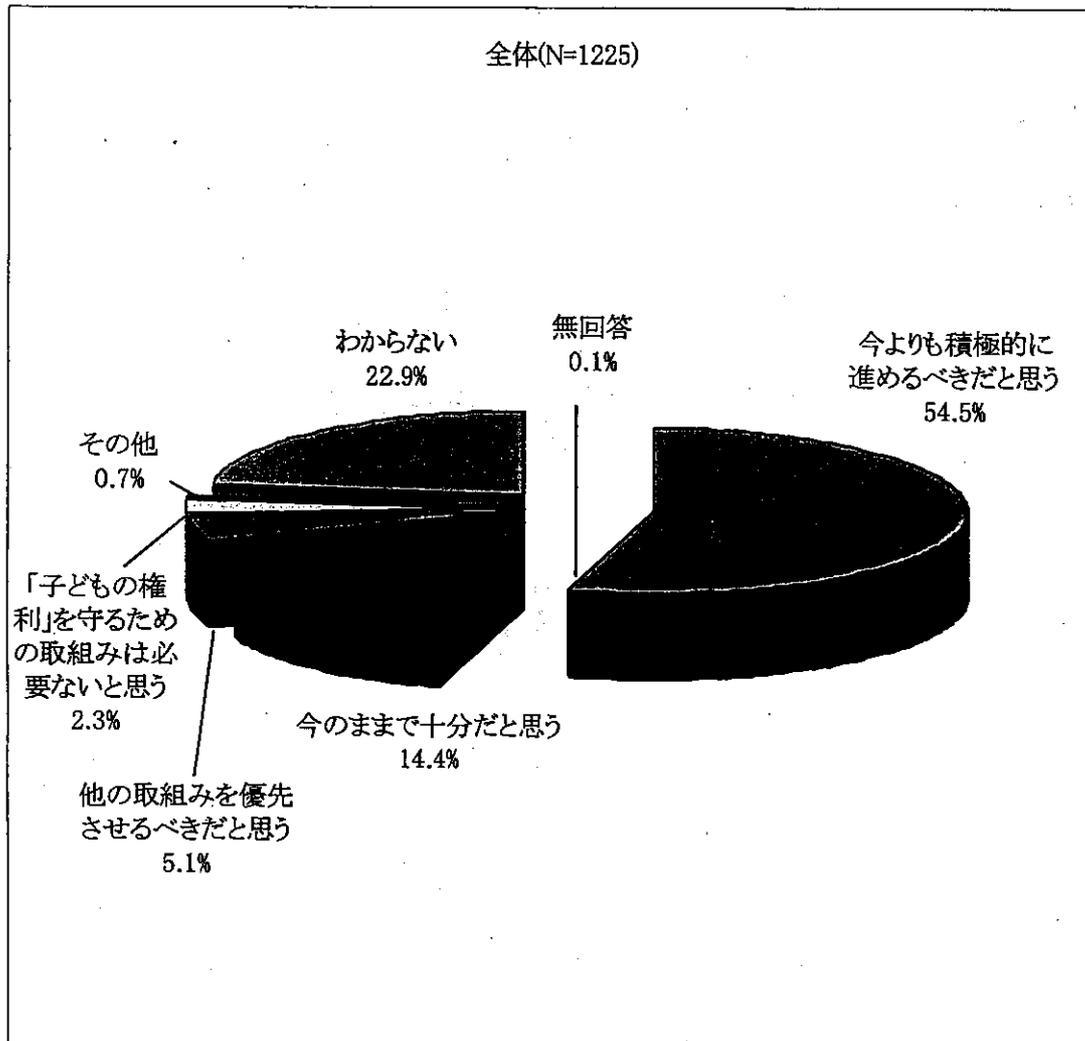


「子どもの権利」が守られていないと思う理由は、「児童虐待などが増えてきていると思うから」が 70.5%で最も多く、「子どもが被害者になる事件が増えていると思うから」が 67.8%で続く。

「子どもの権利」が守られていないと思う理由は、1位が「児童虐待などが増えてきていると思うから」、2位が「子どもが被害者になる事件が増えていると思うから」。

■ 「子どもの権利」を守るための取り組みについて

問 「子どもの権利」を守るための取り組みを今後どのようにしたらいいと思いますか。次の中から、あなたのお考えに最も近いものに1つだけ○をつけてください。



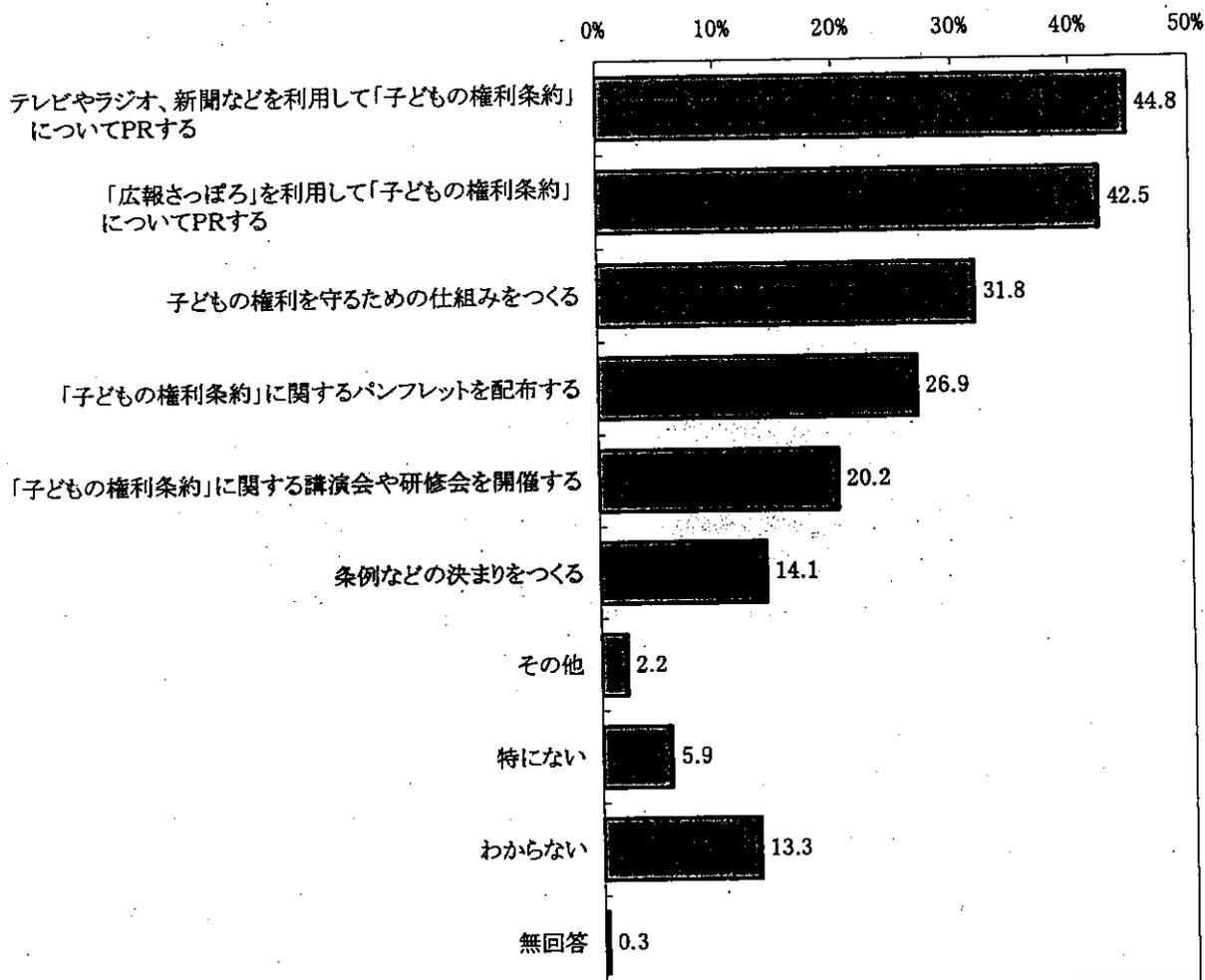
「子どもの権利」を守るための取り組みについては、「今よりも積極的に進めるべきだと思う」が過半数を占めるが、「わからない」との回答も22.9%に及ぶ。

「子どもの権利」を守るための取り組みについては、過半数が「今よりも積極的に進めるべきだと思う」と回答。

■ 「子どもの権利」を守るために札幌市が取り組むべきこと

問 「子どもの権利」を守るため、今後、札幌市が力をいれて取り組むべきと考えるものがありますか。あなたのお考えにあてはまるものにくつでも○をつけてください。

全体(N=1225)



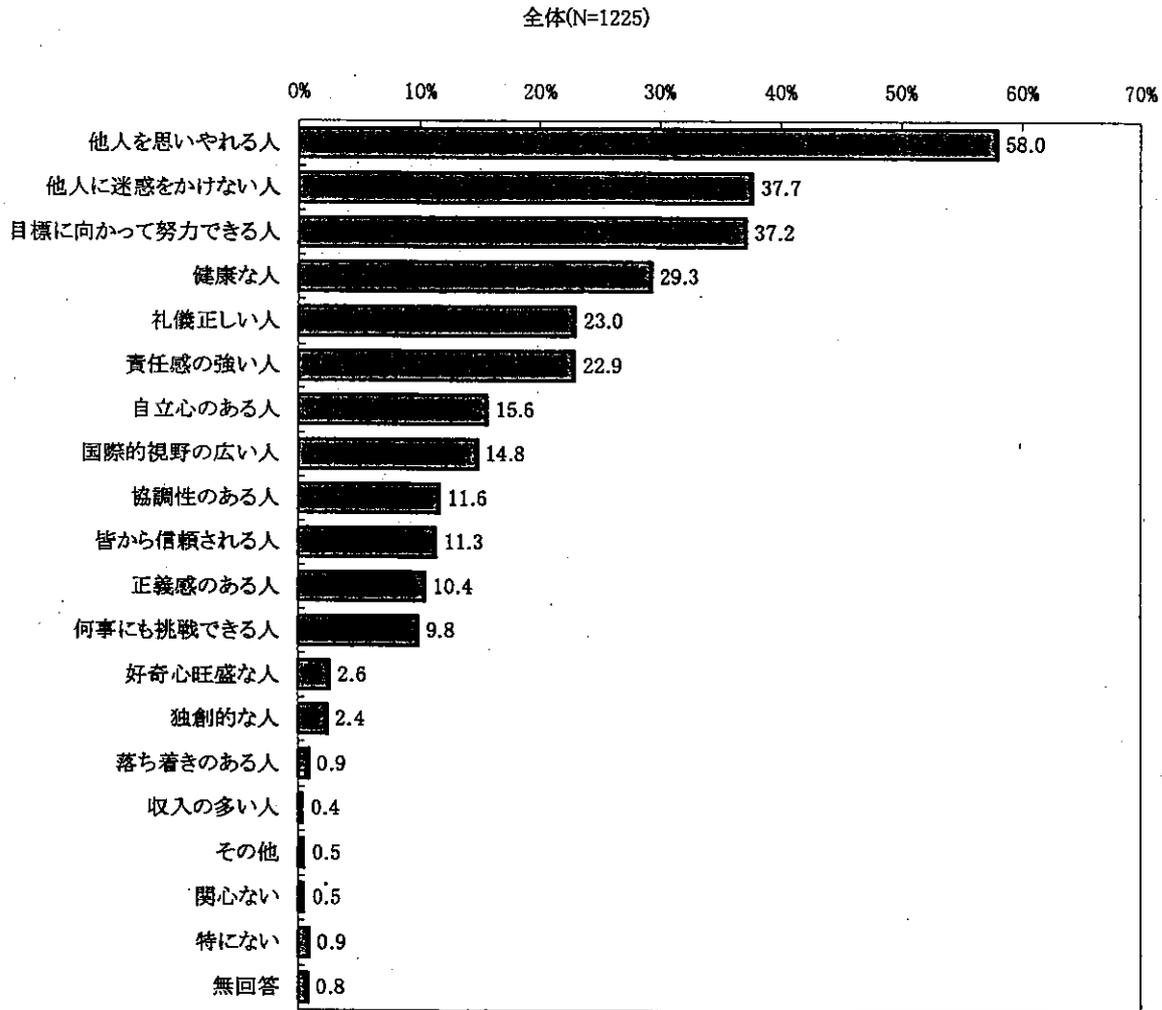
「子どもの権利」を守るために札幌市が取り組むべきことは、「テレビやラジオ、新聞などを利用して子どもの権利条約についてPRする」44.8%、「広報さっぽろを利用して子どもの権利条約についてPRする」42.5%が上位2項目となっており、PRを重要視する傾向である。

「子どもの権利」を守るために札幌市が取り組むべきことは、「テレビやラジオ、新聞などを利用して子どもの権利条約についてPRする」が 44.8%で 1 位である。

5 理想の大人像

■ 今の子どもたちが将来どんな大人になることを望むか

問 あなたは、今の子どもたちが将来どんな大人になることを望みますか。次の中からあてはまるものに3つまで○をつけてください。



今の子どもたちになってほしいと思う大人像は、「他人を思いやれる人」が58.0%で1位となり、以下を大きく引き離している。これに続いて、「他人に迷惑をかけない人」「目標に向かって努力できる人」がほぼ同率の37%台で2位、3位となっている。

今の子どもたちに望む将来の大人像は、「他人を思いやれる人」になってほしいという意見が6割弱、「他人に迷惑をかけない人」「目標に向かって努力できる人」がそれぞれ4割弱。